

明治学院大学言語文化研究所主催 シンポジウム

メディアと子供：
児童文学のトランスカルチュラルな展開

2020年3月16日(月) 明治学院大学・白金校舎 1252教室 (10時30分開場)

第一部 11時～

本多まりえ(明治学院大学准教授)

明治期の少女雑誌に描かれた『リア王』と女子教育

劉娟(横浜国立大学大学院生)

中国における日本の翻訳絵本の特徴 ―― おうちの方向けの解説の受容を中心に

清水友理(日本女子大学大学院生)

〈世界名作劇場〉というアダプテーション

基調講演 (13時10分～)

山本史郎(東京大学名誉教授・昭和女子大学特命教授)

児童文学の翻訳 ―― 書物の文法から映画の文法へ

第二部 14時30分～

笹田裕子(清泉女子大学教授)

ストップモーションアニメ『ファンタスティック Mr. Fox』という〈未来からの贈り物〉

安藤 聡(大妻女子大学教授)

『思い出のマーニー』の二つの舞台 ―― ノーフォークと釧路湿原

JA 日下(明治学院大学准教授)

アフリカ民話の再話 ―― Verna Aardemaの *Who's in Rabbit's House?*

小林英美(茨城大学教授)

『ピーター・ラビットのおはなし』の一般向けの「再話」 ―― 映画による再創造

入場無料・予約不要、どなたでもご参加いただけます。

問い合わせ先

明治学院大学言語文化研究所

〒108-8636 港区白金台1-2-37

e-mail: gengo@ltr.meijigakuin.ac.jp

TEL/FAX: 03-5421-5213

受付時間

平日のみ10:30 - 13:30 / 14:30 - 17:30

